

子育て支援施設の空間構成とコーナー配置

子育て支援  
遊びの種類

空間構成  
コーナー

床仕上げ

正会員 ○伊藤 優里\*  
 準会員 岡崎 紗矢\*\*  
 正会員 山本 幸子\*\*\*  
 正会員 中園 真人\*\*\*\*

1. 序論

1-1 研究の背景と目的

少子対策の一環として 2007 年度より「地域子育て支援事業」が開始され、乳幼児が過ごす空間として一般的な保育所の一室に加え、公共施設の空きスペースや空き民家等も利用され、子育て支援施設の設置が進められている。室内設備においては、事業の実施要綱により「授乳コーナー、流し台、ベビーベッド、遊具その他乳幼児を連れて利用しても差し支えないような設備を有すること」と規定されている。しかし、具体的な遊びの種類については明記されておらず、施設規模や平面構成も異なるため、各施設の運営方針やスタッフの経験に基づいて遊び場が設定されているのが現状である。

そこで本論では、遊び場が棚や床の設え等によって明確に区分されている場所をコーナーと定義し、建物形式や規模の異なる子育て支援施設を対象に、設定されたコーナーの形状及び遊びの種類を整理し、空間とコーナー配置の関係について明らかにすることを目的とする。

1-2 調査方法

調査は、まず建築図面の収集を行い、家具配置のスケッチ・計測及び遊具・玩具等の種類の記録を行った。そして写真撮影により、施設の内部空間や周辺環境等の記録を行った。

調査期間は、2010 年 5 月～2011 年 1 月（事例 1-8,13,15）、2012 年 3 月（事例 9）、2014 年 1 月（事例 10,12,18）、6 月（事例 11,14,17,19,20）、10 月（事例 6,16）である。

2. 施設概要

調査対象施設の概要を表 1 に示す。施設は 1996 年～2011 年に開設されており、5 施設のみが新設で、その他は既存の建物をそのまま活用又は改修を行って利用されている。建物形式は独立住宅、保育園、市民センターが多く、商業施設や福祉施設の活用もみられた。

プレイルームの床仕上げは大きく 5 分類され、①フローリング+畳（畳マットも含む）：9 施設、②フローリングのみ：5 施設、③マット：3 施設、④畳のみ：2 施設、⑤フローリング+畳+マット：1 施設となっている。このうち①の施設においては、独立住宅で既存の畳空間とフ

表 1 子育て支援施設の概要

事例番号	施設名	施設概要					面積(m <sup>2</sup> )	
		開設年	新設・既存・改修	構造・階数	建物形式	プレイルームの床仕上げ	延床	プレイルーム【畳部分】
1	子育てほっとサロン	2001年	改修	RC造地下1階地上5階	商業施設(旧倉庫部分)	マット	34.91	17.17 [-]
2	嘉川子ども館 しゅぽぽ	2005年	改修	木造平屋	独立住宅	畳	96.52	36.78 [36.78]
3	大殿子育てひろば キラ☆きら	2007年	既存	木造平屋	独立住宅	フローリング、畳	92.68	36.98 [26.89]
4	吉敷つどいの広場 楽楽楽	2008年	改修	木造平屋	独立住宅	フローリング、畳	95.30	37.24 [27.96]
5	平川子育てつどいの広場 ひらひら	2010年	改修	木造平屋	独立住宅	フローリング、畳	75.40	43.11 [15.01]
6	美東子育て支援センター みとっこ	2002年	既存	RC造平屋	保健福祉センター	畳	50.81	43.24 [38.30]
7	子育てつどいの広場 小郡ぽぽ	2009年	既存	木造平屋	旧保育園	フローリング、畳マット	82.22	56.53 [23.31]
8	宇部子育てサークル	1996年	改修	RC造4階	福祉施設	マット	107.40	60.00 [-]
9	ほっとさろん西門前 てとと	2003年	改修	木造平屋	旧店舗	フローリング、畳、マット	109.42	68.80 [22.32]
10	山口市阿知須 つどいの広場 き・ら・ら	2000年	既存	RC造2階	保育園(専用室)	フローリング	82.50	82.50 [-]
11	大南こどもルーム	2011年	新設	RC造2階	市民センター	フローリング	203.00	89.5 [-]
12	三隅保育園子育て支援センター	2005年	新設	木造平屋	保育園(専用室)	フローリング	100.80	93.60 [-]
13	子育て交流広場 ちゃ☆ちや☆ちや	2004年	改修	RC造2階	旧児童図書館	フローリング、畳マット	113.50	100.24 [27.80]
14	すずらんひろば高橋	2012年	改修	SRC造地下1階地上3階	テナントビル	フローリング、畳	131.93	100.64 [23.96]
15	宇部子育てサークルすのき	2005年	改修	RC造2階	総合支所	マット	192.70	108.78 [-]
16	熊毛子育て支援センターたんぽぽ	1997年	改修	S造2階	総合支所	フローリング、畳	166.06	111.24 [28.42]
17	坂ノ市こどもルーム	2006年	新設	S造2階	市民センター	フローリング	213.20	160.3 [-]
18	子育て支援センターカンガルーム	1996年	既存	RC造平屋	保育園(遊戯室と兼用)	フローリング	161.34	161.34 [60.40]
19	呉市すこやか子育て支援センターくくれいぼ	2001年	新設	RC造6階	商業施設	フローリング、畳	515	166 [60.40]
20	呉市すこやか子育て支援センターひろびろぼ	2007年	新設	SRC造7階	市民センター	フローリング、畳	493.84	190.61 [48.52]

凡例)プレイルーム面積:□:50㎡、■:50-100㎡、■:100㎡-

表 2 コーナーの定義

形	コーナー				準コーナー
	囲み型	島型	凸型	L型	直線型
定義	2辺以上が家具や仕切りによって囲われているもの	4辺が家具や壁等に接していないもの	家具や壁の前に敷物や畳等を敷いて場所を区分しているもの	隣接する2辺に同種類の玩具を配置しているもの	1辺が家具や壁に接しているもの

ローリング空間を活用したものが 3 施設、新設または改修時に畳スペースを確保したものが 4 施設、そしてフローリング空間に畳マットを配置して畳スペースを設けているものが 2 施設あり、子育て支援施設において畳が有効に活用されていることがわかる。

そしてプレイルームの面積は、50 ㎡以下が 6 施設、50～100 ㎡が 6 施設、100 ㎡以上が 8 施設である。民家活用型の施設では、延床面積は 70～90 ㎡前後あるものの、浴室や台所といった住宅としての機能空間もあり、プレイルームとして活用できる空間に限りがあるため、50 ㎡以下となっている。また、新設された施設では 80 ㎡以上あり、大規模な空間が確保されている。



表5 コーナーの設置形態による分類 (word 法)

事例番号	施設名	施設概要 建物形式	プレイルーム 面積(m <sup>2</sup> )	タイプ別合計 <sup>注1)</sup>					合計	樹形図 <sup>注2)</sup>
				囲み型	島型	凸型	L型	直線型		
4	家楽楽	独立住宅	37.24	1					2	3
5	ひらひら	独立住宅	43.11		2				2	4
3	キラ☆キラ	独立住宅	36.98	1	1				2	4
18	カンガルーム	保育園(遊戯室と兼用)	161.34	1	1	1			1	4
6	みとつこ	保健福祉センター	43.24		3				2	5
2	しほつぽぽ	独立住宅	36.78		3				2	5
14	すずらんひろば高陽	テナントビル	100.04	3		1			2	6
7	小郡ほっぼ	旧保育園	56.53	3					1	4
9	ととと	旧店舗	68.8	2	1	3			2	8
1	子育てほっとサロン	商業施設(旧倉庫部分)	17.17	1					3	4
10	まから	保育園(専用室)	82.5	1					4	5
8	宇部市子育てサークル	福祉施設	90		2				5	7
15	くすのき	総合支所	108.98		1				6	7
11	本郷こどもルーム	市民センター	89.5	1	7	3			11	12
17	坂ノ市こどもルーム	市民センター	160.3	1	6	4			4	15
12	三鷹保育園	保育園(専用室)	93.6	1	4	1			5	11
13	ちやちややちや	旧児童図書館	100.24	4	4				4	12
16	たんぼぼ	総合支所	111.24	3	6	2			4	15
19	くれくれ・ば	商業施設	166	2	6		1		4	13
20	ひろひろ・ば	市民センター	190.61	4	8	1			4	17

凡例)プレイルーム面積…□:~50m<sup>2</sup>、■:50~100m<sup>2</sup>、▣:100m<sup>2</sup>  
 注1)「タイプ別合計」の数値は、表3「遊びの種類」のうち「その他(L型・直線型を除く)」も加えた値を示す。  
 注2)樹形図は、「タイプ別合計」の数値を用いてクラスター分析を行った結果を示す。

動的遊びについては、滑り台：8、ジャングルジム：6、アスレチッククッション：5、ブロッククッション：5の4種類が多く設定されており、コーナータイプは「島型」と「直線型」のみがみられた。このうち、「ジャングルジム」や「滑り台」といった大型遊具については、プレイルーム面積が50㎡以下の施設でも配置されていた。

その他のコーナーについて、複数の玩具を同じ棚や場所に配置しているものは、プレイルーム面積が50㎡以下では「直線型」、50㎡以上では「囲み型」「島型」「直線型」がみられた。これにより、面積の狭い施設では明確にコーナーを設定せず、まとめて玩具を配置する傾向がみられる。

次に施設ごとの遊びの種類とコーナー設定について示す。遊びの種類は「ひろひろ・ば」が合計11と最も多く、「絵本」「ぬいぐるみ」「家・テント」においては2ヶ所ずつ設定されていた。また、プレイルーム面積が50㎡以下の施設では4前後と同程度の遊びの種類がみられたが、50㎡以上の施設では2~11と差が大きく、プレイルームの面積以外の要因も関係していると考えられる。

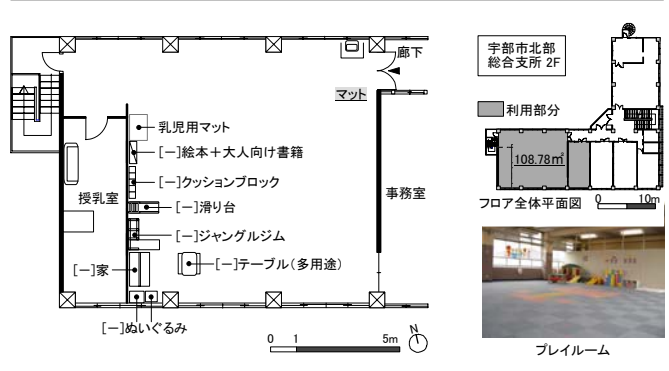
3-3 遊びの種類と床仕上げ

表3を基に、遊びの種類を床仕上げの違いによって再分類したものを表4に示す。コーナーの合計値についてはフローリングスペースが77と最も多く、主に島型：37、直線型：22が配置されている。また、畳スペースは合計36で、直線型：23と6割以上を占めている。

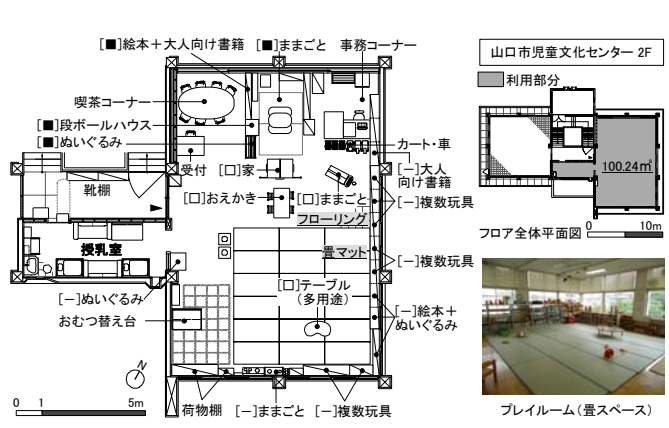
遊びの種類について、静的遊びでは「ままごと」、「家・テント」、「お絵かき」がフローリングスペースに多くみられた。また、「絵本(複数種類含む)」、「ぬいぐるみ」は畳スペースに多く、ほぼ「直線型」での配置であった。動的遊びは、フローリングスペースが半数を占め、「ジャングルジム」や「滑り台」等の大型遊具の配置が特徴的である。

また「その他-複数玩具」については、フローリングスペースでは囲み型：6、凸型：8と明確に場所が区分されていたが、畳スペースでは直線型：10と準コーナーが多くみられた。

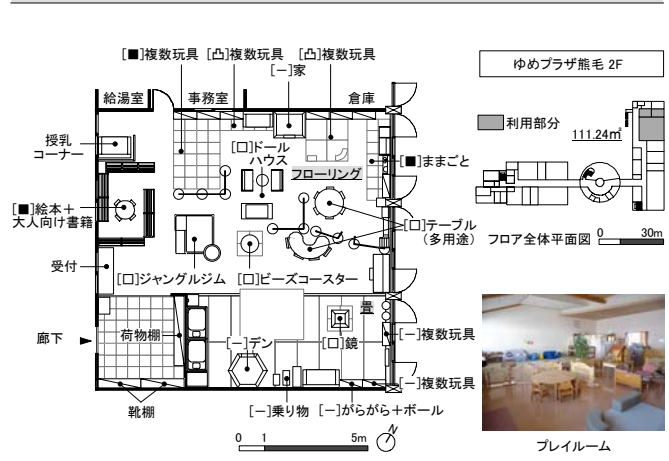
宇部子育てサークル くすのき(グループA2)



子育て交流広場 ちや☆ちや☆ちや(グループD1)



熊毛子育て支援センター たんぼぼ(グループD2)



凡例)コーナー…■:囲み型、□:島型、凸:凸型 準コーナー…-:直線型  
 注1)遊び場以外のコーナー、棚については「」を付せず示している。  
 注2)フロア全体平面図に記載している面積は、プレイルームの面積を示す。

図1 施設のコーナー配置

4. 事例分析

4-1 コーナーの設置形態による分類

20施設のコーナー配置の違いを明らかにするため、表3を基にクラスター分析(ward法)を行った。なおこの分析では、遊びの種類「その他」の準コーナー(L型・直線型)を除くコーナータイプも、明確に場所が区分されていると考え、合計値に加えている。

分析結果を表5に示すが、A~Dの4グループに分類で

き、A と D についてはさらに 2 つに細分類した。まずグループ A は 11 施設が該当し、そのうち A1 が 7 施設、A2 が 4 施設である。グループ A は、コーナー配置として主に「島型」と「直線型」からなるタイプで、コーナーの合計値が 5 前後と少ないのが特徴である。また、建物は独立住宅を利用した 4 施設すべてが該当しており、プレイルーム面積 100 m<sup>2</sup>以下の施設が 8 施設と全体の 7 割以上を占めている。

グループ B は 2 施設が該当し、主に「囲み型」と「直線型」からなるタイプで、プレイルーム面積は 60 m<sup>2</sup>前後と同程度である。

グループ C は 2 施設が該当し、「L型」以外のコーナータイプがみられ、特に「島型」が多いのが特徴である。建物は、2 施設とも市民センターに設置されている。

グループ D は 5 施設が該当し、そのうち D1 が 2 施設、D2 が 3 施設である。主に「囲み型」「島型」「直線型」からなるタイプで、それぞれが同程度みられる。建物は、保育園の専用室や総合支所、市民センターなどに設置され、4 施設はプレイルーム面積が 100 m<sup>2</sup>以上である。

#### 4-2 グループ別事例分析

表 5 の分析結果を基に、コーナー配置に差が見られたグループ A、D に着目し、プレイルーム面積が同程度の事例を選定してコーナー配置の比較を行う。

##### 1) 宇部市子育てサークル くすのき (グループ A2)

「くすのき」は、総合支所 2 階の会議室を改修して設置された施設で、プレイルーム面積は 108.78 m<sup>2</sup>である。改修時に全面にカーペットが敷かれ、コーナーは島型：1、直線型：6 と主に壁際にまとめて配置されている。遊びの種類については、絵本と親向けの書籍が同じ場所に配置され、他は滑り台やジャングルジムなどの大型遊具が配置されている。「くすのき」では、プログラムを設定して運営が行われ、大人数が一度に活動可能な空間を確保するために、このような配置となっていると考えられる。

##### 2) 子育て交流広場 ちゃ☆ちゃ☆ちゃ (グループ D1)

「ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」は、児童センター2 階の旧図書館部分を改修して設置された施設で、プレイルーム面積は 100.24 m<sup>2</sup>である。プレイルームには、事務コーナーと親のための喫茶コーナーも設置されている。室内はフローリングスペースの一部に畳マットを敷いて空間を 2 分割しており、フローリングスペースには家やままごとキッチン等の大型遊具やお絵かきテーブルが配置されている。一方、畳スペースでは周囲に棚が配置され、絵本やままごとコーナーが設定されている。「ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」で

は、月に数回 0 歳児を子育て中の親の交流会等が開催されており、その際に畳スペースが利用されるため、畳マットの上に家具やコーナーが配置されていないと考えられる。

##### 3) 熊毛子育て支援センター たんぼぼ (グループ D2)

「たんぼぼ」は、総合支所 2 階の会議室を改修して設置された施設で、改修時にフローリングスペースと畳スペースを設けている。プレイルーム面積は 111.24 m<sup>2</sup>で、フローリングスペースにはジャングルジムやビーズコースターなどの「島型」のコーナーが多くみられる。また、複数の玩具についても敷物や仕切りによって場所が区分されている。そして、畳スペースにはデンや乗り物等が配置されているが、「ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」と同様に壁際配置となっている。「たんぼぼ」では、催しを行う際には総合支所内の別部屋が利用可能であることも、室内に多様なコーナーを設定できる要因の一つと考えられる。

## 5. 結論

本論で得られた知見は以下の通りである。

- 1) 遊びの種類とコーナータイプについて、静的遊びではままごと、絵本、ぬいぐるみ、家・テント等のコーナーが設定され、ままごとコーナーはプレイルーム面積が 50 m<sup>2</sup>以上の施設において「囲み型」がみられた。
- 2) コーナーの設置形態によりクラスター分析を行ない、4 グループに分類した。このうち、コーナー配置が 5 前後のグループ A は、主に「島型」と「直線型」で構成されていた。また、コーナー配置が 13 前後と最も多いグループ D では、「囲み型」「島型」「直線型」が同程度配置されていた。
- 3) 施設の事例分析において、グループ A2 の「くすのき」では、プログラムを設定して運営を行うことが多いため、壁際にコーナーが配置されていた。グループ D の「ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」「たんぼぼ」では、フローリングと畳スペースを設置し、フローリングスペースでは大型遊具やテーブル等の「島型」配置がみられたが、畳スペースは「直線型」配置であった。

## 参考文献

- 1) 横山勉：多用途空間にみる幼児施設の空間構成に関する研究 (7) 遊びとコーナー (保育空間) の関わり, 日本建築学会北陸支部研究報告集, 第 43 号, pp. 369-372, 2000.7
- 2) 山田恵美、佐藤将之、山田あすか：自由遊びにおける園児の活動規模と遊びの種類およびコーナーの型に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, 第 74 巻, 第 637 号, pp.549-557, 2009.3

\* 山口大学大学院理工学研究科  
DC2・日本学術振興会特別研究員  
\*\* 山口大学工学部感性デザイン工学科 学部生  
\*\*\* 筑波大学システム情報系 助教・博士 (工学)  
\*\*\*\* 山口大学大学院理工学研究科 教授・工博

\* DC2., JSPS Research Fellow., Graduate School of Science and Eng., Yamaguchi Univ.  
\*\* Undergraduate, Dep. of KANSEI Design Eng., Faculty of Eng., Yamaguchi Univ.  
\*\*\* Assistant Prof., Faculty of Engineering, Information and Systems., University of Tsukuba., Dr.Eng.  
\*\*\*\* Prof., Graduate School of Science and Eng., Yamaguchi Univ., Dr.Eng.